

2007. 02. 10

IHEワークショップ in 京都

はじめに

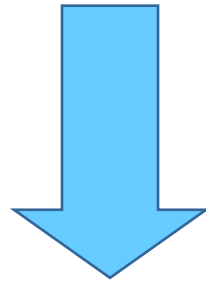
IHE-J 運営委員会委員長
石垣武男

情報の連携・統合化と一口に言っても簡単ではない

情報交換規格の標準化だけでは情報連携は望めない

複数間の情報システムの連携が必須

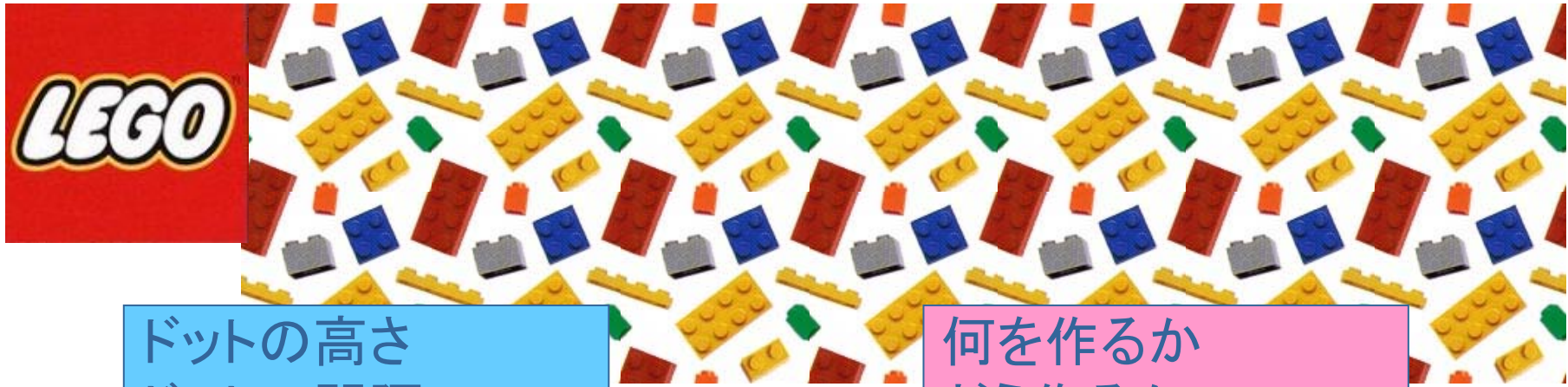
情報の相互交換におけるセキュリティの担保



IHE

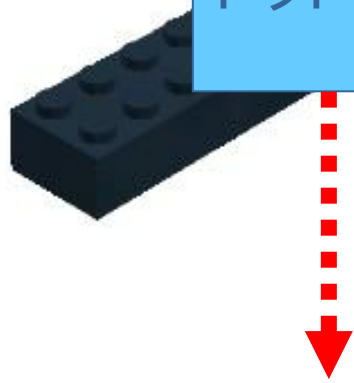
規格なの？規格じゃないの？

中安氏より借用



ドットの高さ
ドットの間隔
ドットの配列
...etc.

何を作るか
どう作るか
必要な部品は何か
...etc.



「規格」というもの



「規格」ではないもの

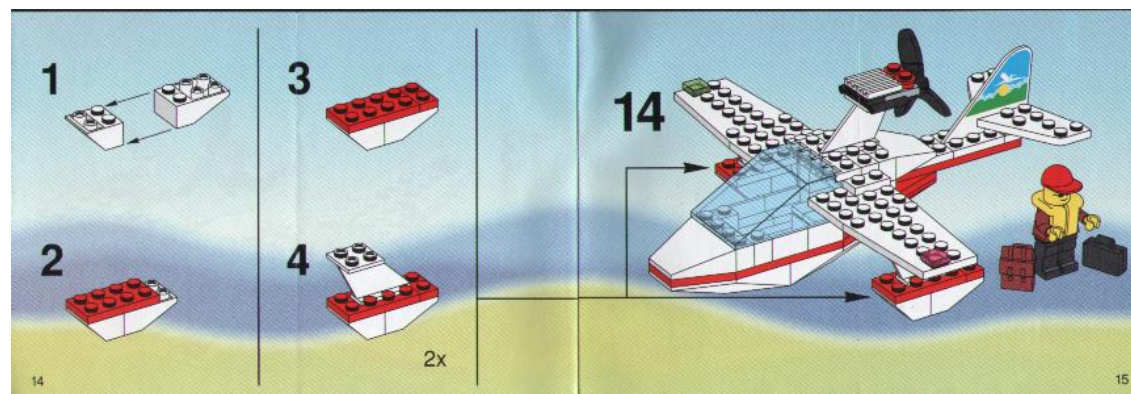


「IHE」という考え方

中安氏より借用



「お城」じゃない



「恐竜」じゃない

「部品」が「規格」にしたがって作られていることが前提



「作りたいもの」に応じた「組み立て方」がある



「部品の選び方」と「組み立て方」を提供するのが「IHE」

IHEのメリット・・・例えば

電子カルテ構築への最短の道

ユーザは、情報交換の不具合がない、先行する良い運用を、最小投資で実現できる

ベンダーは、無駄な開発、投資を抑止でき、顧客の要望に答える提案ができ顧客が増大する

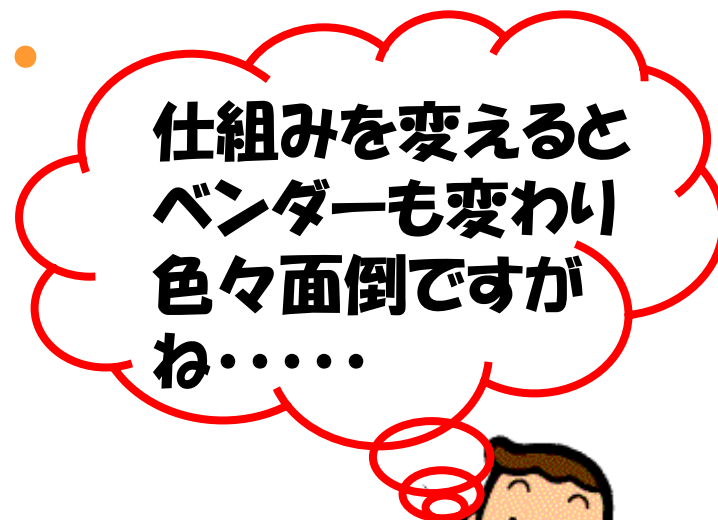
IHEガイドラインを利用すれば、ユーザが要求仕様書を書ける



電子カルテが定着して・・・



そろそろ
システムの更新だが
今とは違う仕組みに
変えたらどうかね



仕組みを変えると
ベンダーも変わり
色々面倒ですが
ね……



だから！ IHE

IHEは提案する

- ユーザとベンダ双方がIHEの利用者であるので、IT化に関しての考えや実現手段を共有することが重要
- IHEの目標は「画一化」ではないので、IHEからの提案は医療施設における情報化の基盤として作用するものであり、その範疇での相互接続性が確保されるものである
- 要求仕様書の指針を示すことがIHE-Jの当面の目的であるがさらには医療のIT化の重要な鍵となる仕組み作りを目指すものである。

I T 新改革戦略

— いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会の実現 —

平成18年1月19日

内閣府

I T 戦略本部

重点計画-2006 (案)

平成18年6月1日
内閣府
IT 戦略本部

平成18年6月1日

I T 新改革戦略評価専門調査会

I T 新改革戦略に関する政府の
取り組み状況の評価等を行う

医療評価委員会

電子政府評価委員会

医療評価委員会

医療・保健・福祉の情報化に係わる施策の推進等に関し、疾病の予防、医療の質の向上と効率化、医療費の適正化の観点も含め厳正な審査・評価等を行う。

医療評価委員会報告書

- ・ レセプト完全オンライン化
- ・ 健康情報の活用と地域医療連携の推進
- ・ 医療情報化の共通基盤

▪ レセプト完全オンライン化

- 1) 診療報酬関連業務の見直し
- 2) ネットワークのセキュリティ要件の統一化
- 3) ネットサーク基盤の活用

▪ 健康情報の活用と地域医療連携の推進

- 1) 生涯を通じた健康情報の把握・活用を進めるための取り組み
- 2) 医療機関の連携を進めるための取組

▪ 医療情報化の共通基盤

- 1) 標準化を円滑に進めるための取組
- 2) ネットワーク、セキュリティ基盤の共通化の取組
- 3) 現場で活用しやすいユーザーインターフェースの開発

IHE-Jは成長する

IHE-Jの活動は放射線領域にとどまるものではない。
現在内視鏡、病理、循環器、臨床検査、眼科部門へと
展開している

有限責任中間法人日本IHE協会

(2007. 4月設立予定)

欧米のIHE組織と協調する一方で日本社会独自の仕
組みに対しての対応をしっかりと行う

IHEワークショップ

第1回	高知	2004年9月12日
第2回	大阪	2005年1月22日
第3回	札幌	2005年2月26日
第4回	金沢	2005年5月14日
第5回	名古屋	2005年9月 3日
第6回	小倉	2006年1月28日
第7回	仙台	2006年5月13日
第8回	東京	2006年8月 5日
第9回	京都	2007年2月10日
第10回	香川	2007年5月12日